



市議会だより

2023年
2月1日
No.26

芦別市議会ホームページ <http://www.city.ashibetsu.hokkaido.jp/shisei/gikai/>



芦別消防出初式（1月8日）



議長動静

芦別市議会議長

田森 良隆

昨年から新型コロナウイルス感染症第8波が続いてお
ります。現在は、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置な
どの行動制限は出ておりませんが、市内の状況を見ますと
繁華街での人出は少なく、外へ出て会食をするような雰
気ではなく、昨年12月の忘年会時期の街の中は閑散とし
て、私も予定していた忘年会がほとんど中止となったと
ころであります。

飲食店を始め関連する事業を営まれている方々にとつ
ては、厳しい経営状況が続いているのではないかとお察し
するところです。

今年、1月4日に芦別市・芦別商工会議所共催の新年
交礼会が3年ぶりに開催され、また、全ての団体ではあり
ませんが新年交礼会を開催される団体もあり、私も出席さ
せていただき挨拶をさせていただきました。また、まだ感染
予防対策を行いながらでの開催ではありますが、地域経済
の活性化に向け少しずつではありますが社会活動が再開し
ております。

早く以前のような自由に行動ができ、多くの市民が集ま
ってイベントができるような社会、活気のある芦別に早く
戻ってほしいと期待するところであります。

本年4月には、市議会議員選挙が執行されます。私たち
議員の任期は残り3ヶ月となりました。市民の皆様が安心
してこの芦別で生活できるように残りの任期を市とともに
諸課題に取り組んでいく所存であります。

来月には、現議員の最後の市議会、3月定例会が開催さ
れ、令和5年度市政執行方針、教育行政執行方針に対す
る代表質問、一般質問、令和5年度予算などの荻原市長か
ら提案された議案に対する審議を行います。私たちが議員
は市民の皆様の負託に心えられるようしっかりと審議して
まいります。

内容	
◎特集総務・社会産業常任委員会道外行政視察	2～3
◎12月定例会一般質問	4～7
◎3月定例会市議会のお知らせ	7
◎12月定例会の議決結果	8

総務常任委員会道外行政視察

令和4年10月17日から10月20日の日程で総務常任委員会の行政視察を行いました。視察先と視察内容については福島県相馬市で地域公共交通について、福島県南相馬市で震災の復興状況と防災対策について、福島県国見町で定住促進における結婚支援について、宮城県名取市で市役所の業務効率化への取り組みについて、宮城県塩釜市で移住定住の取り組みについて調査を行いました。



特徴的な取り組みとしては相馬市における「おでかけミニバス」は地元のお店街からの要望により実施に至った事業であり、中心市街地の活性化と高齢者等の生活の足の確保を行っている点、南相馬市における「消防、防災センターにおける震災

時の情報発信」という点では時間とともに記憶が薄れていく中で当時のことを後世に伝えていくために、身近に感じられる施設に設けてあることで、今後災害が起こったときに被害を最小限にしておくことに役立つことであると実感できました。



また、国見町における「結婚世話焼き人制度」は地元の方々が地元若者の出会いの創出や交際に至るまでのサポートを行うなど、まさに結婚支援の世話を焼くといういい意味で田舎っばい取り組みであり、今後より住民同士の関係性が疎遠になることが予想される現在においては、このような取り組みを地域コミュニティ維持のために活用していく必要性を感じました。

名取市における「市役所の業務効率化への取り組みについて」は全国的に進められているスマート自治体、自治体DXの促進といった自治体業務のデジタル化を進めていくうえで、どの様なことに着目することで、業務時間の削減などについて効果を発揮させることが出来るのか、実例を交えて説明いただきました。

塩釜市においても「子育て・三世代同居近居住宅取得促進事業等の移住定住施策」について詳しく説明をいただき、改めて移住定住施策の難しさを実感したとともに、意見交換においてお互いの課題の共有などを行えたことで、本市における移住定住施策の充実に繋げることが出来るアイデアをいただけたと思います。



今回の視察は限られた時間の中で量、質ともに充実した内容であったと考えますし、ご対応していただいた各自治体の職員の方には非常に感謝いたします。やはり視察調査を行うに当たっては議員として事前に下調べを行い、芦別市の現状や行っている施策を理解したうえで視察先での説明を受け、不明な点などを質問し議員として理解を深め、芦別市に還元することが行政視察を実施する意義であるのだと考えますので、今後より充実した視察の実施を行っていきたくと考えております。

総務常任委員会委員長 北村 真



社会産業常任委員会道外行政視察

令和4年10月25日から10月28日までの期間、社会産業常任委員会道外行政視察に行っていました。



視察先及び調査事項は、岡山県津山市でつやま産業支援センターの取り組みについて、岡山県鏡野町で林業就業者支援事業の取り組みについて、広島県呉市でデータヘルスによる健康寿命の延伸の取り組みについて、広島県竹原市で日本遺産を活かした観光振興策について、それぞれ調査を行いました。

津山市のつやま産業支援センターの取り組みについては、発展的に解散したつやま新産業創出機構の経緯や内容がその後のつやま産業支援センターにどう引き継がれ、課題や問題も見直されたのがよくわかり、大変参考となる視察調査でありました。鏡野町の林業就業者支援事業の取り組みについては、実は新規就業者

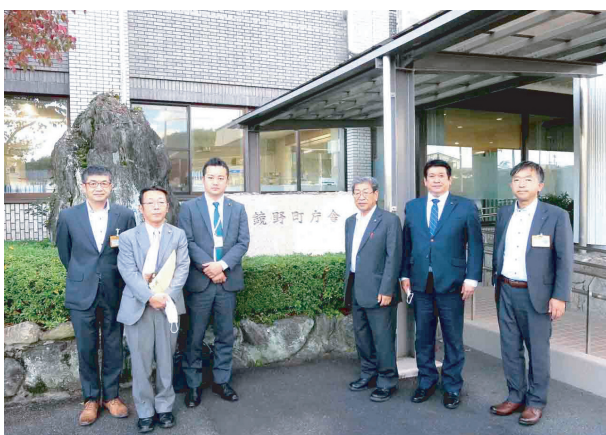
を入れる事業体にとつて、新規就業者が戦力になるまでの金銭面や教育面での負担は大きく、そこに雇用支援金という形で助成があるのは大変助かると思いました。実現に向けて検討していきたいと思えます。

呉市のデータヘルスによる健康寿命の延伸の取り組みについては、芦別市でもデータヘルスに取り組んでおりますが、呉市での事業の具体的な取り組みの規模はあまりにも大き過ぎますが、考え方、視点・観点については参考とすべき点はたくさんありました。



竹原市の日本遺産を活かした観光振興策については、本市で日本遺産に認定されている炭鉄港での観光施策として共通することもあり、観光地とまちの消費経済をどうつなげるか課題であると感じました。

社会産業常任委員会委員長 新村 充



12月定例会 一般質問

12月定例会 一般質問

公明党



松尾 達矢 議員

出産・子育て応援について

質問

子育てネットワークを作るための支援とその支援を上手に利用できない方の把握、対応について伺う。

答弁

妊娠届け出時や健診時の様子を把握しており、その対応については、保健師が中心となり、訪問電話等での対応を行っております。

質問

妊婦に対しどのような支援策があるのか伺う。

答弁

妊婦一般健康診査費用の助成、妊婦超音波検査費用の一部助成、当該健康診査時の交通費に医療機関まで移送する陣痛タクシー事業、相談等に対する保健師や管理栄養士による家庭への訪問を行っております。

質問

伴走型相談支援や経済支援について伺う。

答弁

妊娠届け出時から出産までの間に行う面談やアンケート、出産までと出産後の見通しの作成をし、経済支援については、妊娠届け出後に出産応援支援、出産後に子育て応援支援と示されていることから、これらに沿い合わせながら、市としても対応してまいりたいと考えております。

市民の悩みに寄り添う取り組みについて

質問

来庁された時、何かを聞きたい時や、この手続きはどこに行けばよいのかわからない時は、どこを訪ねればよいのか、また、「総合窓口」の必要性について伺う。

答弁

市民年金係にて対応しております。なお、来庁者の方に、よりわかりやすい看板の表示について、工夫してまいります。「総合窓口」の必要性について、各種相談を一つの窓口で行うことについては、市民の皆様の利便性からも必要であると感じておりますが、庁舎スペースや財源など課題も多く、今後、検討してまいりたいと考えております。

質問

人生最後のお別れについて

新型コロナウイルスに感染し、病院や施設等で

亡くなった方に対する斎場での対応について伺う。

答弁

感染防止の観点から、他の利用者との時間帯を調整し、火葬と拾骨を終えた後に、ご遺族にご連絡をし、遺骨を受け取りに来ていただいております。

質問

新型コロナウイルスに感染されたときの葬儀は、家族と遺体との面会はできるのか伺う。

答弁

厚労省のガイドラインでは、一定の感染対策を講じたうえで、可能であれば面会できる場の設定について検討するよう示されており、今後、どのような対応が可能であるかを協議し、少しでもご遺族の心情に寄り添った対応に努めてまいりたいと考えております。

政風会



林 伸樹 議員

滞在時間と経済効果について

質問

本市では観光による交流拡大事業としてKPI（注1）を設定しているが、滞在時間と経済効果の分析について伺う。

答弁

観光客の滞在時間を長くすることで、観光消費を増大させる効果が期待できることから、この関係を分析することが観光戦略として有効と思われる、まずは、道内全体の観光需要の回復期を見据えながら入込数の回復に努めてまいりたいと考えております。

事業のテーマとコンセプトについて

質問

星空等の自然資源の価値をどのような表現をもって差別化が図られるよう考えているのか伺う。

答弁

芦別温泉が道内唯一の国民保健温泉地であることや「炭鉄港」の構成文化財、豊富な農産物等、地域の観光資源と星空観光を組み合わせた様々なイベント等の開催により、星空の差別化をさらに押し上げていくことができるものと考えております。

地元観光について

質問

観光アプリなどを活用したまちなか散策やSNSを使用した情報発信などによる交流人口を拡大する取り組みについて見解を伺う。

答弁

地域住民が関わることでホスピタリティの充実が促進されることに加え、観光リピーターの獲得や交流人口の拡大によ

(注1) KPI = 「Key Performance Indicator (キー パフォーマンス インジケータ)」の頭文字を取った言葉で、企業や組織の目標を達成するために行う日々の活動の具体的な行動指標のこと。

(注2) DIY = 英語の「Do It Yourself (ドゥ イット ユアセルフ)」の略語で、素人(専門業者でない人)が、何かを自分で作ったり修繕したりすること。

12月定例会 一般質問

る経済効果も期待されますので、芦別観光協会に提案のうえ、研究を進めてまいります。

質問 観光産業は、多岐にわたる業種が参入できることから、観光コンテンツの充実による経済や雇用への波及効果についての見解を伺う。

答弁 着地型観光の展開やフーケーション事業等の観光コンテンツ造成にあたって地域資源を効果的に取り込み、観光関連事業者や地域との関わりも強めながら、域内経済循環を創出し、経済や雇用への波及効果につながるよう努めてまいります。

質問 「あしべつ飲食・タクシー割引券」が本年5月本市全世帯の町内会加入率約8割の世帯に町内会広報配布組織を通じて配布が始まった。最初から約2割の世帯に行き渡らないことを承知でなぜこのような手法を講じたのか。更に、未加入世帯に対して市ホームページ又は市内各所に印刷物を置き周知すると言っていたが、果たしてこれだけで100%クリアできると確信していたのか伺う。

答弁 町内会を通じた配布方法を選択した理由は、割引券であり金券ではないことや、世帯単位での配布であること及び郵送料等の経費を抑制できること並びに職員を参集させて発送作業を行うことで生じる新型コロナウイルスの感染リスクを回避する必要があることから、他市の事例なども参考に今回初めて試験的に実施したものであります。結果として、町内会未加入の

質問 新たな事業の創出や波及効果、交流人口の拡大に資する対策としたDIY住宅リフォーム助成事業化の検討について見解を伺う。

答弁 現在、市においては定住人口の確保を図り、人口減少の抑制を図ることが最優先の課題としており、DIYリフォームの助成事業化については検討を行っていないところではありますが、サポート支援として相談や指導といった問い合わせや要望等が寄せられた場合には、担当の都市建設課において対応してまいりたいと考えております。

無所属



若松 市政 議員

生活支援について

質問 「あしべつ飲食・タクシー割引券」が本年5月本市全世帯の町内会加入率約8割の世帯に町内会広報配布組織を通じて配布が始まった。最初から約2割の世帯に行き渡らないことを承知でなぜこのような手法を講じたのか。更に、未加入世帯に対して市ホームページ又は市内各所に印刷物を置き周知すると言っていたが、果たしてこれだけで100%クリアできると確信していたのか伺う。

答弁 町内会を通じた配布方法を選択した理由は、割引券であり金券ではないことや、世帯単位での配布であること及び郵送料等の経費を抑制できること並びに職員を参集させて発送作業を行うことで生じる新型コロナウイルスの感染リスクを回避する必要があることから、他市の事例なども参考に今回初めて試験的に実施したものであります。結果として、町内会未加入の

質問 「あしべつ飲食・タクシー割引券」が本年5月本市全世帯の町内会加入率約8割の世帯に町内会広報配布組織を通じて配布が始まった。最初から約2割の世帯に行き渡らないことを承知でなぜこのような手法を講じたのか。更に、未加入世帯に対して市ホームページ又は市内各所に印刷物を置き周知すると言っていたが、果たしてこれだけで100%クリアできると確信していたのか伺う。

答弁 町内会を通じた配布方法を選択した理由は、割引券であり金券ではないことや、世帯単位での配布であること及び郵送料等の経費を抑制できること並びに職員を参集させて発送作業を行うことで生じる新型コロナウイルスの感染リスクを回避する必要があることから、他市の事例なども参考に今回初めて試験的に実施したものであります。結果として、町内会未加入の

一部世帯には周知が徹底されていなかったことも否めず、一定の経費と時間をかけて全世帯に郵送することで、ご指摘をいただくような問題は生じなかったものと受け止めております。

質問 令和4年9月には子育て世帯と低所得者に対しても支援事業を行っている。これらはすべて金券だと思つ。金券意識の欠如が弊害と矛盾を生んだ。今回の「あしべつ飲食・タクシー割引券」は金券か否か伺う。

答弁 本市2名の顧問弁護士によりまずと、法律上の用語には金券の定義はなく、商法の手形・小切手法の法律学を研究するうえで用いる用語として「金券」という概念があり、法令によつて証券そのものに特定の価値が認められている証券とされ、この意味での金券には銀行券、収入印紙及び郵便切手などがあり、本割引券は利用に一定額の負担を伴い、それ自体に換金性がないことから、金券とは異なるものとの見解が示されております。

質問 本市で耕作放棄地はどれくらいどの面積があるのか。また、耕作放棄地に至った理由と耕作放棄地を再利用する方法について伺う。

答弁 耕作放棄地は「以前耕作していた土地で、過去1年以上作物を作付けせず、この数年の間に再び作付けする考えのない土地」であり、本市においては現在存在していないところですが、一部農地で作付けされない農地があることから、適切な農地の管理を促すとともに、自己管理保全の啓発チラシを毎年配布するなどにより対応を図っております。また、作付けが困難な場合には、農地から雑種地や山林あるいは宅地への地目変更が行われております。

日本共産党



松井 邦男 議員

質問 「あしべつ飲食・タクシー割引券」事業に係る行政の責任について

答弁 業は、全世帯には郵送方法で、何も問題がなかった。今回は全世帯対象なのに、町内会経由で配布。1311世帯の未加入世帯の大半に届かないことは、当初から明らかだった。「割引券」使用を市民として公平なサービス享受の機会を損

なった未加入世帯（「割引券」を受取った世帯は192世帯のみ）に対する行政の責任について伺う。

答弁

全世帯に郵送してあげば、指摘された問題は生じなかつたものと受け止めており、今後遺漏のないように努めてまいります。

物価高騰などで生活苦にある非課税をのぞく世帯への生活支援について

質問

「コロナ禍と物価高騰対策で、非課税以外世帯への支援状況と声別としての支援策の考えを伺う。」

答弁

国と道及び市は、今年非課税1世帯当り約19万円もの生活支援を実施しております。管内で非課税以外世帯への独自支援は5市で、対象世帯を拡大せず実施は声別も含め5市です。現状は支援実施の考えはありませんが、国の動向を注視してまいります。

公共による合同・共同墓設置を

質問

核家族化、少子化により、将来の納骨、墓地の管理「墓じまい」に不安を抱く市民が増えている。宗教・宗派に関わりなく家族以外の遺骨を一緒に埋葬する「合同・共同墓」設置の市が急速に進んでいる。その状況と市の対応についていの考えを伺う。

答弁

道内では34市中29市が設置。空知管内では9市中7市と増加傾向にあります。合同墓設置の宗教法人等との意見交換やアンケート調査等により市民ニーズを把握し、判断してまいります。

《要望意見》 未設置は声別のほか1市であり、積極的対応を求めます。

学校給食費の無償化・助成について

質問

文部科学省は「通知」で、物価高騰による給食費の値上がりが保護者負担とならないよう、臨時給付金を活用しての軽減措置を求めた。全国では、子育て支援や教育費の負担軽減から、給食費の無償化・助成に取り組む自治体が増えている。声別でも給付金を活用して来年3月までの5ヶ月間無償化した。引き続き来年4月以降の無償化・助成への積極的検討を伺う。

答弁

空知管内では歌志内のほか美唄市が今年度から無償化で実施し、三笠市は小学校の給食費の納付分に商品券を交付することで実質無償化しました。学校給食費の無償化・助成は重要な課題と捉えておりますが、今後の財政状況を踏まえて慎重に検討してまいります。



市民連合議員団



小川 政憲 議員

令和5年度予算編成方針と行財政改革の推進について

質問

今年度一般会計における地方交付税増額等による地方財政計画の変更点等財政収支見通しについて伺う。

答弁

示されている財政収支見通しに12月提案の補正予算を加えた予算ベースに、国の2次補正予算に盛り込まれた普通交付税の増額分約8900万円を加えての収支見通しの推計値は6100万円の歳入不足となっております。 ※12月補正予算後の基金（積立金）繰入予定額は2億4150万円見込んであります。

質問

令和6年度統合中学校開校に伴う施設整備について伺う。

答弁

統合準備委員会の協議の中では、施設整備に関する特別な意見はありませんでしたが、声別中学校からの要望としてあった大便器の洋式化を含めたトイレの改修、黒板の取替え、照明のし

ED化、エアコンの設置、部室器具庫の更新、屋根付き駐輪場の設置等の要望を踏まえて新年度に施設修繕や設備更新を行う方向で検討しております。このほか、新たにスクールバス2台の導入とバスの待機スペースとなる敷地の舗装拡張も検討しております。

質問

公共施設等総合管理計画の今後の進め方とスケジュールについて（20年間の立地適正化計画・10年間の地域公共交通計画との整合性）伺う。

答弁

現在策定中の立地適正化計画において、行政、教育・文化、介護・福祉、医療などの都市機能増進施設の設定内容などを踏まえ、また、国から計画に盛り込むことを求められている脱炭素化やユニバーサルデザイン化の推進方針などを加え、今年度中に計画の全般的な見直しを図ってまいります。また、公共施設等総合管理計画（40年間）については、10年ごとにアクションプランを策定し具体的な対応方針は、第6次総合計画（10年間）の実施計画（3年ごと）の中で示させていただきます。

市職員の働き方改革について

質問

荻原市長が1期目に行った若手職員との意見交換会で得られたもの、その後取り組んだ事例はあったのか伺う。

答弁

意見交換の場を計22回開催し、延べ194人が参加しました。各所管に関わることや職場環境に関することなどの意見をいただき、職員一人一人が問題意識を持って職務に当たっていることを改めて実感したところです。いただいた意見を参考に、18歳までの医療費無償化、保育士の確保、若手職員の職名復活、RPAやICTの推進、道との人事交流における職員募集制度等、所管課の枠を超えて庁内検討グループの編成、ふるさと納税返礼品のアイデア募集などに取り組んだところです。

政風会



北村 真 議員

「あしべつ飲食・タクシードライバー」発行事業について

質問

あしべつ飲食・タクシードライバーは金券にあたるかどうかの法的根拠について伺う。

答弁

市の顧問弁護士により金券の定義はなく、商法の手形・小切手法の法律学の用語として「金

再質問

券」という概念があり、法令によって証券そのものに特定の価値が認められている金券には銀行券、収入印紙及び郵便切手などがありますが、本割引券はその使用の際に利用者の一定額の負担を伴い、それ自体に換金性が無いため金券とは異なるものであるとの見解が示されています。

再質問

本事業は令和4年度の補正予算第1号で可決したものであると認識しているが、その際の資料の中では配布枚数7121枚でその約6割の利用を想定、1294万7千円を計上している。また、11月に配られた実施結果によると、配布枚数は6159枚で利用率が約75%、総額1385万3千円となっている。今回の事業は新型コロナウイルス感染症の拡大により大きな影響を受けている飲食業やバス・タクシー事業者支援を目的とした事業であるとの説明を受けていたと思うが、その事業の効果についてどのような認識であるのか伺う。

答弁

事業者支援という目的の中で当初想定していた予算額よりも大きな額が使われたことで、高齢者の方や事業者からは効果があったとの声を伺っております。割引券ということで事業費の金額以上の利用額があると考えられますので、所期の目的を達成できたと受け止めております。

再質問

配布の手法として試験的にこのような方法で行ったとの答弁をいただいたが、今回あげられている郵送費等の経費の抑制と職員の感染リスクの回避についての効果について伺う。また、課題として挙げられていた町内会連合会や町内会の皆様との協議の不足によりおこった迷惑とはどのようなものであると認識しているのか伺う。

答弁

郵送費、職員の時間外手当、封筒等の印刷代等を抑制できたと考えております。ご迷惑という点では割引券を広報紙に挟んだ状態での納品を依頼し円滑な配布に向けた配慮を行いました。事前の協議やケース毎のO&Aの準備を行うことで、事業の目的を理解いただき円滑な配布ができたのではないのかと考えております。

要望

今後は商品券・割引券を発行する際には郵送により遺漏の無いよう対応することとだが、今回の割引券のような予算額の事業で230万円という郵送費がかかることが本当に正しいことなのか検証しなくてはならない。また、事業の検証において利用者からの評価や意見を広くとらえずに問題視してしまうことは、エビデンスベースではなくエピソードベースの事業検証になってしまうので、今後は広く市民の意見を調査して検証を行ってほしい。

3月定例会市議会のお知らせ

- 会期 3月9日(木)～24日(金)
- 日程
 - 9日(木) 本会議(議案の提案)
 - 13日(月) 本会議(代表質問・一般質問)
 - 14日(火) 本会議(一般質問)
 - 15日(水)・16日(木) 常任委員会
 - 17日(金)・20日(月)・22日(水)・23日(木) 予算審査特別委員会
 - 24日(金) 本会議(議案の議決)

◆開会時間 いずれも午前10時から。
※日程・時間は、議会運営上変更する場合があります。

議会をインターネットで生中継

本会議の様子を、動画配信サイトYouTube(ユーチューブ)で生中継いたします。過去に開催された本会議、常任委員会、特別委員会も視聴することができますので、ぜひご覧ください。



「芦別市議会 YouTubeチャンネル」

議会の動き

令和4年11月上旬～令和5年1月下旬

【11月】

- 9日 全市議会議長会第229回理事会
・第113回評議員会合同会議(東京都)
- 14日～15日 総務常任委員会(所管事務調査)
- 16日～17日 社会産業常任委員会
(所管事務調査)
- 22日 議員会派代表者会議
" 議会運営委員会
" 北海道後期高齢者医療広域連合議会
第2回定例会(札幌市)
- 25日 中空知衛生施設組合議会
第2回定例会(滝川市)
- 28日 第8回市議会(臨時会)
" 総務常任委員会
- 29日 空知教育センター組合議会
第2回定例会(滝川市)
" 中空知広域市町村圏組合議会
第2回定例会(滝川市)
" 石狩川流域下水道組合議会
第2回定例会(滝川市)
- 30日 滝川地区広域消防事務組合議会
第2回定例会(滝川市)

【12月】

- 1日 議員会派代表者会議
" 議会運営委員会
- 8日 議員会派代表者会議
- 8日～16日 第9回市議会(定例会)
- 14日 総務常任委員会
" 議員会派代表者会議
" 議会運営委員会
- 15日 社会産業常任委員会
- 16日 広報広聴委員会

【1月】

- 13日 議員会派代表者会議
" 議会運営委員会
- 17日 第1回市議会(臨時会)
- 18日 広報広聴委員会
- 24日 広報広聴委員会
- 26日 総務常任委員会
- 27日 社会産業常任委員会
" 議会改革特別委員会



12月定例会の議決結果

12月8日、令和4年第9回市議会(定例会)が招集され、会期を16日までの9日間と定めて、各会計補正予算、条例制定・改正などが審議されました。議決結果は以下のとおりです。

■全員賛成の議案

議案	件名	結果
補正予算	一般会計(第10号)	原案可決
"	下水道事業特別会計(第2号)	原案可決
"	介護サービス事業特別会計(第1号)	原案可決
"	病院事業会計(第2号)	原案可決
"	水道事業会計(第1号)	原案可決
条例制定	工場立地法に基づく準則を定める条例	原案可決
"	私有林整備事業補助金交付条例	原案可決
"	訪問看護ステーションの移行に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決
条例改正	まちづくり推進事業補助金交付条例	原案可決
"	在宅福祉サービス条例	原案可決
"	職員の定年等に関する条例等	原案可決
条例廃止	老人福祉共同住宅条例	原案可決
その他	滝川地区広域消防事務組合規約の変更	原案可決
"	人権擁護委員候補者の推薦 (被推薦者: 山田恵一氏、樺澤 寛氏)	可と答申
意見書	物価高における農畜産物の適正な価格形成と農業経営の存続に向けた需給改善対策等の強化に関する意見書	原案可決
"	知的障がい者・知的障がい行政の国の対応拡充を求める意見書	原案可決
"	带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書	原案可決

■閉会中継続審査となった議案

議案	件名
条例制定	個人情報の保護に関する法律施行条例

編集後記

今年はいんフルエンザが流行すると言われています。去年の末からコロナ禍による行動制限が緩和されました。新型コロナウイルス患者は減少傾向にありましたが、行動制限の緩和で、お正月に帰省する方が増えたため、新型コロナウイルス感染者が増加傾向にあります。

ワクチン接種が進んでいることもあり、国では、第3者認証制度や感染防止安全計画等の感染リスクを低減させる方を講じながら新型コロナウイルスの感染拡大を防止し、日常生活や社会経済活動を継続できるよう行動制限の緩和の取り組みを進めていくという方針が決定されました。これまで講じてきたさまざまな制限を一定程度緩和することで、今まで中止されていた行事やイベント等を今年から開催する予定です。マスクの着用では、屋外で他者と具体的な距離がとれて会話をほとんど行わない場合は、必要なくなりましたが、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐためにもこれまで行っていた感染対策を徹底しましょう。(樺坂)

芦別市議会広報広聴委員会

- 委員長 樺坂直紀
- 副委員長 松尾達矢
- 委員 大鎌光純、林伸樹、石川洋一、松井邦男、新村充